

《土地収用法臨時特別法》を中心とする関連法案粉碎！
 沖縄返還協定批准阻止—返還粉碎の闘いを取場末端から
 更に組織し、実力(取場—街頭を貫くがりう戦—正規軍戦)
 でこれを粉碎せよ！

大田地区反戦に結集する同志諸君、あの24日の強行採決—24日の衆院本会議の採決の自民党の暴挙に、我々に向けられている《沖縄返還》を通しての攻めがきな河はあり、いかにその争な帝国主義ヌルツォマツ—とていつと死活問題あるなを見たと思ふ。それ以後あらゆる諸関係—対外的にも対内的にも一の嵐のさる反再編の頂点として沖縄返還もあり、労働者にとってそれはより—肩の隷属を生み出さぬなら、日々の苦痛を拡大し強要され及ぶ帝国主義国家の思泉は国民として生か直されゆくもの以外の何ものもなない。

政府自民党は12月8日より審議に入つて《関連法案》とりわけ《土地収用臨時特別法》を12月上旬までに参院送りやめどに強行せんとし、批准協定を29日をむけてくる自動承認に持ち込みたいと、文書通り死活を及べている。

日本の反革命的沖縄返還—帝国主義国家の完成—及、労働者人民の岸岸斗争をもつてこの沖縄労働者リタエトを一貫とする「本土」—沖縄を貫く労働者政府樹立なという、文書通り「帝国及コミュニズム」という闘いのため、社共総評の「全面返還」と自民党に高く評価される「非核決議」なトのつまりであり、「国母解散論争」及再度のヌルツォマツ的収束にすぎず、母こそ、さらに強く、批准実力阻止—12年沖縄返還解散の闘いある口より人民のストライキ—街頭実力斗争を、明確に政府中央斗争として闘い抜こうとはしない。

正藤君即時保釈に圧倒的カンパを要請します！

6月返還協定調印阻止斗争に於て、官収の不当逮捕—長期拘留—起訴の不当強圧さらには水道当局的休職処分
 の強圧を受けつづき、獄中で闘い抜いている工藤君(東水労第一支隊即時保釈に向けカンパを要請します。

なお、地区として意見をあげて来ている訳ですが、12月中旬なら下旬に及び、権力は分離公判を強行しよう
 としています。休職処分粉碎を地区—分別を貫く闘いとして見ると、公判斗争を要する闘い抜こうとはありません。
 保釈金は20万です。

地区反戦年末—時金カンパ(3000~5000円)を！

現在、地区反戦として様々な斗争を担つてきている訳ですが、赤字が2万ほどあり、地区内のさらなる強化と
 発展のため、対中央斗争の強化の為に、カンパを要請します。

《スケジュール》

- 9日~ 中旬 関連法案衆院強行採決 (緊急行動)
- 11日 批准阻止関連法案粉碎斗争 沖縄闘
- 15日 12年沖縄返還粉碎！自衛隊派兵阻止！ 富村氏即時奪還！ 因因決起三戦士奪還！
 沖縄政治委員会
 主催 沖縄面 共催 沖縄闘、10-11月行動委、その他
 PM 6:00 立大タカホ—ホール(寺)
- 21日 返還粉碎—批准阻止 大田地区集会 PM 6:00 産業医館(寺)
- 23日 協定批准実力阻止沖縄闘中央総決起集会